

学会参加報告書

提出日 2014 年 2 月 23 日

学籍番号	12N0008	学系	トレーニング科学系
氏名	村松 愛梨奈		
学会等名 (正式名称)	180 TH MEETING OF THE AMERICAN ASSOCIATION FOR THE ADVANCEMENT OF SCIENCE		
開催日程	2014 年 2 月 13 日 ~ 2014 年 2 月 17 日		
開催場所 (国・都市名)	USA, CHICAGO		
発表演題名	Energy balance during the week before a competition in Japanese sprint athletes.		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 学会は研究発表だけでなく、各出展機関が研究成果を映像や機材を用いて紹介するブースや子ども向けのブースなども多く、とても活気に満ちあふれていました。特に2日間は「Family Science day」として会場が無料で開放されており、多くの子どもたちが訪れていました。 大学を含め、様々な機関が子どもたちに分かりやすく科学を伝えている様子は大変興味深く、研究をするだけでなく伝える技術も科学者にとって大切であることを改めて感じさせられました。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 今回、研究発表はポスター発表で行いました。ポスター発表では、与えられた時間(4時間)でのフリーディスカッション形式で行われます。また学生部門での発表のため、審査員とのディスカッションを通して、優秀者を決定します。 私の発表内容は、試合調整期における大学競技者を対象に行ったエネルギーバランスの事例研究です。アスリートが試合調整中にどの程度エネルギーを消費して、それに対してどの程度エネルギーを摂取できているかを検討しました。 今回参加した学会は様々な「Science」を対象としており、分野が広がったため、自身の研究に密接に関連した研究は多くありませんでした。大きな括りで「Physical science」として近い研究はいくつかありましたが、教育や環境とエコロジー、医学と公衆衛生、細胞学、物理学など他の分野の研究も多く、自分の分野に捉われず勉強させていただきました。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 他の日本人のデータについての質問や、測定手法等においてアドバイスをいただき、研究論文にする上で有意義な意見を得ることが出来ました。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。
 提出期限は学会終了後2週間以内とする。